

プラム・プルーン特報 No.1 北部

令和2年3月2日

J A中野市営農センター

J A中野市プラム部会

本年は、暖冬で経過し、気温、地温とも平年に比べ高く、生育は進んでおります。
(発芽 3月12日～16日頃北部?)と予想されますが、春季の気象は変動が激しく
生育状況も常に変化しています。プラムの生育初期は品種間、並びに地域間差等生育
の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(平岡定点) 太陽

太陽	平 年	H27	H28	H29	H30	H31	R2
発芽日	3/24	3/22	3/18	3/27	3/23	3/22	3/14?

*発芽前の防除（圃場での防除体制が整い次第、散布する）

散布時期：プラム 3月上旬～（発芽前） 発芽 10日～1週間前頃
：プルーン 3月中旬（発芽前） //

*他の園地や隣接するハウスのビニールにかからないようにする。

散布薬剤： 水 90ℓ
 展着剤 10ml
 石灰硫黄合剤 10ℓ

対象病害虫：(ふくろみ病)・(胴枯病)・カイガラムシ類

散布量：10a当り 300ℓ

注意事項：石灰硫黄合剤に代えてトレノックスフロアブル 500 倍（収穫
14 日前、3 回）を使用してもよい（展着剤加用）トレノックスフロアブル
500 倍を使用する場合展着剤は、アビオン E 1000 倍か k.k ステッカー
3000 倍を使用する。尚、k.k ステッカーは必ず最後に調合する。

※ふくろみ病対策

ふくろみ病の発生園は、発芽 3～5 日以内にトレノックスフロアブル 500 倍（収穫
14 日前、3 回）を散布する。（展着剤－アビオン E、k.k ステッカー）

・休眠期防除で、ホーマイコート 100 倍を使用しても良い。

* カイガラムシ類の発生園は合剤散布－5 日前にはスプレーオイル 20～
30 倍（発芽前）を単用散布する。

※（混用も可能ですが、発芽後での防除ですと、薬害の心配が生じます。）